

右

軍令部長



次長



作戦班



履歴簿

副官



参事官

五月廿

發



手

大臣

次官



經理局長



主任局員



軍務局長



局員



三十八年五月十三日起案

0666

官房機密第五五四號白

横鎮機密第三〇六号ノ二襟裳燈臺内
指人全案

每頁

注 算

便設置樓用トシテ燈臺建物ノ一部及敷
地使用ノ件 逕信者、協議済ニ付此旨
心得也

明治三十八年五月十二日

0667

秋

管第六七八号

官房機密第五四號

經理局

主任局員

襟裳岬燈臺内仮設望樓用トシテ
燈臺建物ノ一部及敷地使用ノ件
本件ニ付本月九日付官房機密第五
五四號ノ二月以テ照會之趣了承
中右ニ差支レ無ク係此般及回答致

明治三十八年五月十日

逓信大臣大浦兼武

海軍大臣男壽山本權兵衛殿

官房機密第五四號

0668

319-2

昭

軍令部長

次長

作戦班

森

履歴簿

副官

調議

參事官

三十八年五月八日起案

大臣

次官

經理局長

主任局員

軍務局長

局長

官房機密第五五四號

禁裏後設望樓用建物ノ達成ヲ要ス

579

0670

三付三、襟裳燈台建物ノ一部ヲ兵復居室ト
物置下ニ使用シ且ツ同燈台構内ニ於テ別紙圖面
朱線ノ通ル建物及敷地トシテ使用致度旨同
右ノ家諾相成度此段及照合旨也

追テ本件ハ横須賀鎮守府司令長官ヨリ
航路標識管理公長、下地協議済ニ
為念申添旨也

明治三十八年五月九日

大臣

逕信大臣

0671

無線

三〇六番二

三〇八官房

主任局員

標裳燈台其權内ニ建築物新設
位置使用ノ儀ニ付上申

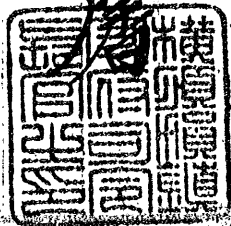
本年三月官房機密第三三。現ニ以テ設置
方訓令相成候無線電信所ニ付、内安
渡移支神威標裳ハ經費ノ節減ト工
事速成トシテ回ラレガ為メ在、燈台ヲ
用セトシテ航路標識管理而ト協議ヲ
遂ク秋處安渡移支神威ハ燈台建物
若、構内敷地ヲ利用スル、餘地無クニ付
附近、地ヲ撰定スル、見込ニ有之候然ルニ
標裳燈台ハ幸ニ兵員居室ト物置トシテ使

官房機密第五五四號

19

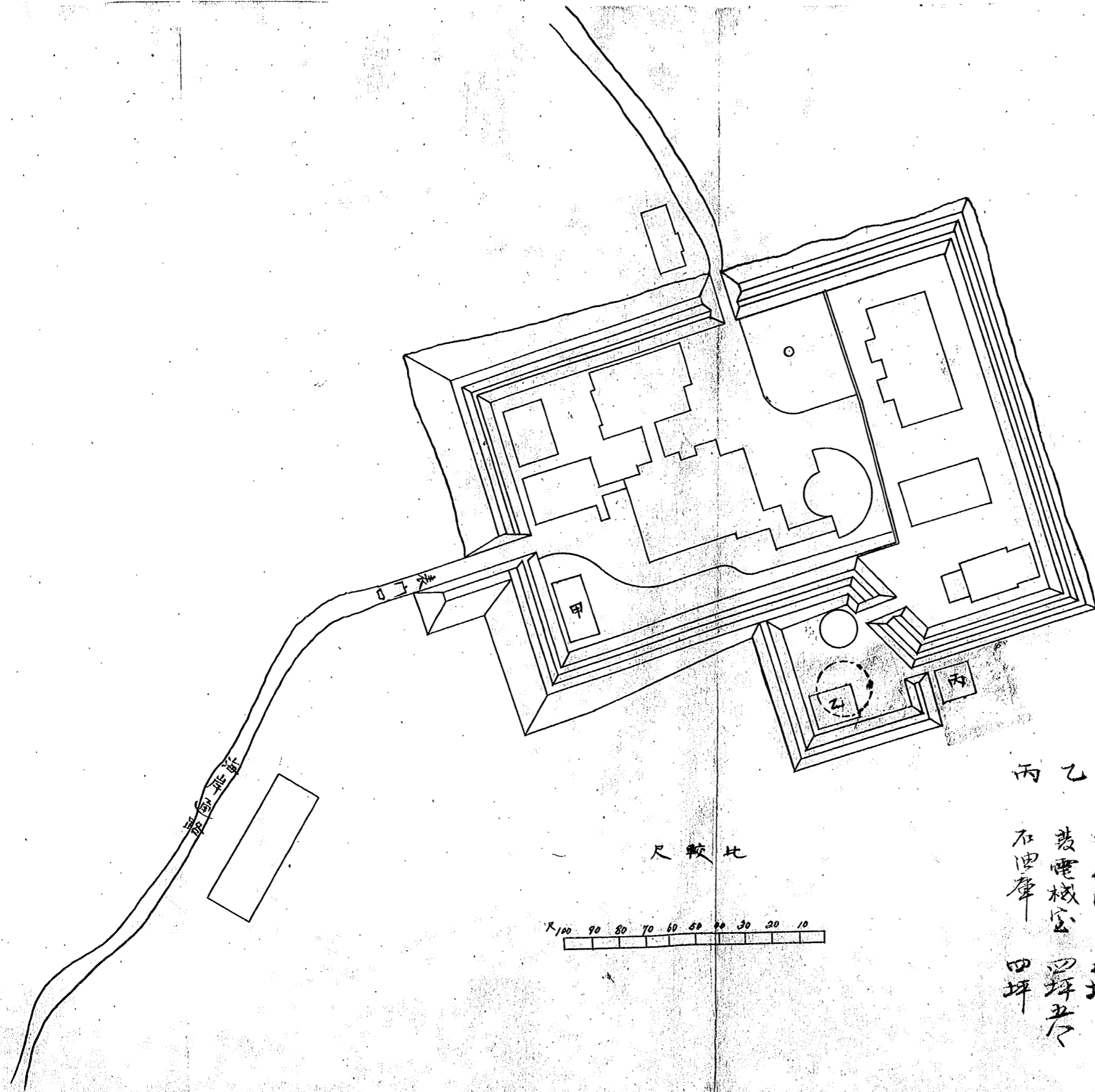
0672

用レ且ッ構内ニ於テ発信室発電氣室石油庫
 等ヲ建設シ得ル餘地アルヲ以テ別紙圖面
 通リ建築物新設位置道使用ノ義當該主
 務大臣ト決相定相成度此取申取也
 明治三十八年五月七日
 横濱鎮守府庶長島野尉并良馨
 海軍大臣田中野山少輔兼務殿
 追テ本件ノ航路標識管理ニ先ト協議付
 有之取付此取副具取也



0673

襟裳燈台内無線電信用建築物
新設位置圖



甲 電信室 八坪
乙 發電機室 四坪半
丙 石油庫 四坪

0674



正

軍令部長
次長
作我班
支山簿
四日

副官
參事官

三十八年五月十二日起案

大臣

次官

經理局長

軍務局長

艦政局長

主任局員

局員

第一部長

會計課長

指令案

橫鎮機密第二三号ノ三人全萃山無線

官房機密第五五七號

0675

計 宣

電信所設計變更^等件ハ其ノ調書中番舎
及電信室ヲ十六坪七合五勺ニ人倉庫ヲ三坪
ニ改メ豫算總額四千四百六十五拾錢以内ヲ以
テ施行スル儀ト心得ヘシ
明治三十八年五月十四日

0676

金華山無線電信所新管工事費

一金四百六十五拾錢

但材料船積陸揚海陸運搬費を含む

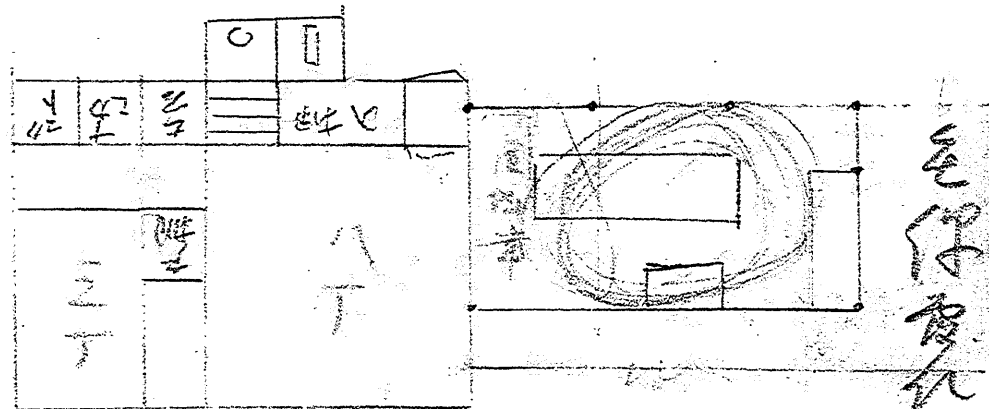
内訳

名	稱構	造坪数及箇	單價	金額	類
蓄倉及電信室	水造平家	一六 ^坪 七 ^五	六八〇〇	一三九〇〇	
發電機室		四五〇	六五〇〇	二九二五〇	
倉庫		三	六〇〇〇	一八〇〇〇	
水溜	所在花園 右造	一 ^坪	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	
無線電信柱	木造	一	一九〇〇〇	一九〇〇〇	
敷地	均己	約二六 ^坪 五	三〇〇〇	七九五〇〇	

0677

0678

三
三
三



8.75

三
三
三

本件上申ニ對スル所見

一、無線電信所ハ軍械庫信止去降ノ準備ヲ為スルニ勿論ナリトモ本件係候モ...

二、無線電信所 12坪半
三、電信室 12坪半
四、電信機 12坪半

五、既設臺車山壁機建物ホカノ庫
六、壁機 五坪半
七、無線電信機 0坪半

八、上申書 電信所ハ八年ヲ算スルニテ...

九、上申書 電信所ハ八年ヲ算スルニテ...

十、上申書 電信所ハ八年ヲ算スルニテ...

十一、上申書 電信所ハ八年ヲ算スルニテ...

十二、上申書 電信所ハ八年ヲ算スルニテ...

十三、上申書 電信所ハ八年ヲ算スルニテ...

2.25
8
10.25
4.5
5.75
10.25

0679
0680

一、無線電信所
二、電信室
三、電信機
四、壁機
五、無線電信機
六、壁機
七、無線電信機
八、上申書
九、上申書
十、上申書
十一、上申書
十二、上申書
十三、上申書



0679
0680

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

4.5
5.75
10.25

明治二十年
明治二十年

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

明治二十年未後後も
手帳の残物ノ積積
手帳の残物ノ積積

經理局

録二〇三三

金剛山無線電信可設計者更立。
豫算増額、裁二分上申

本年三月官房概算第三六〇號より御
訓在相成致金剛山無線電信可設計者
今般起之可致、般別紙理由書並調書、
通、設計者更、必要の場、費爲取調致
般算金四十六万五拾元、同五拾元、要
御訓在豫算三對し差引金三万八拾六
円五拾元、増額の要し致右、軍機通信上
最緊切、裁二分設計者更之事施行並豫
算増額、裁係セラ御認許相成度同局

官房機密第五七號

2571 086

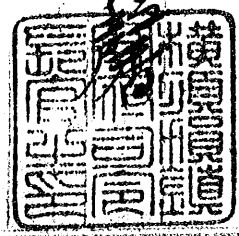
五九 (印)

0681

並調書相括、此段上甲共也

明治二十八年五月八日
横濱加藤守成倉富野村井上良

海軍大臣野澤山本橋本衛殿



0682

金華山魚線電信新營事業調書

一金四千六百零拾六圓五拾錢

但材料積積陸場海陸運搬費ヲ含ム
電信柱海路徑概ハ
官價依例見込

内譯

名	稱	造	新敷及箇所	單	價全	價攝	要
倉	庫	石造 花崗	3	40	240		
發	機室		4	65	260		
蓄	倉及電信室	木造	1	68	68		
魚	線電信柱	木造	1	19	19		
敷	地		約	3	79		長三間半 十五間高平均九尺

計

3
205

0683

金華山無線電信架設計變更理由書

電信室ノ設計

徑來ノ實驗ニ徴スルニ法指令ノ四坪五合ニテハ大ニ扶墜ノ感スル
山及波浮電信室、如クハ坪ヲ要ス室内ニ必要ニ設備ハ電信機用
機電信池室當直寢室器具格納押入電信室等ヲ要スニ因リ如
シ

前地帯設備中是ニ注意ヲ要スルハ電信器用室ヲトス徑來ノ如ク單
ニシテ木製机上ニ備ヘ附リルニ於テハ震動ヲ受ケ調整ヲ乱スノ虞
アリラバ石造或ハ煉瓦造臺ヲ構造シテ之ヲ安置スルニ必要ヲ認ム又電
池室内ノ周圍ハ幅広ニ於テハ電信池室令採板板ヲ貼付スル必要アリ
發動機室ノ設備ニ關シ特別ナル注意構造ヲ要スヘキ理由
(1)發動機ノ基礎ヲシテ充分徑固ナラシメテ可ク

宗谷龍巻其他ノ發動機ヲ破損スル理由ハ寒氣凍結ナリト爲メ
 ナリト雖其原因ハ廻リハ發動機基礎固ナラリトシトニ起因スルモ
 然機械モ回轉極ノ速達ニシテ一ノ同少クモ四倍以上ノ回轉ヲ爲スヲ以テ
 機械ノ振動モ亦著シク若シ之ハ基礎ニシテ強固ナラザルニ於テハ各部
 意外ノ緊張ヲ起シ多人ノ損傷ヲ惹起スルニ至ルヘシ

(四) 室内ノ床ハ叩キト爲ス必要ニ理由

之ヲ土間トシ置キ於テ土砂塵埃ノ爲メ各動機ヲ害スルニ至ルヲ以テ之
 ヲ防ウ爲メ土間ハ叩キト爲ス必要アリ

(ハ) 炭動機室ノ内周ハ天井・線ヲ亜鉛引鉄板ヲ張リ附クル必要ニ
 理由

石油炭動機ニ使用スル燃料ハ揮發度ノ高キモノヲ用フガ故ニ失火ノ
 危険ヲ誘發スル爲メ亜鉛引鉄板ヲ張リ附クルノ必要アリ

電信室ノ炭動機ヲ隣室ニ且兩室ノ間ニ傳信ヲ設備スル必要ニ理由

程米ノ試験ニ依ルニセヨ一試産動機ノ爆発用火死ハ通信機

ニ應シテ現字セシムルカ故ニ産動機室ト電信室ト可成隔離セシムル

要シ後ヲ右両室間ニ電話ヲ設備シ産動機運轉ヲ電信室ヨリ合

同セシムル要アリ

石油格納倉庫ヲ特設スルノ必要アリ理由

産動機ニ用ル石油ハ時来益々火度低ク揮度度高キモノヲ使

用スヘキ必要アルヲ以テ此ホク貯藏スル倉庫ハ火大危険ノ預防上可成

本家屋ト隔離セシメ木造倉庫ノ内部ニ重鉤引鉄板ヲ付ク事後

倉庫ヲ特設スルノ必要アリ認ム

水涵（五噸入）ヲ造ル必要アリ理由

産動機冷却用水々涵兼電信取負飲用水蓄藏ノ爲メ五噸入水

涵一個ノ構築ヲ要ス

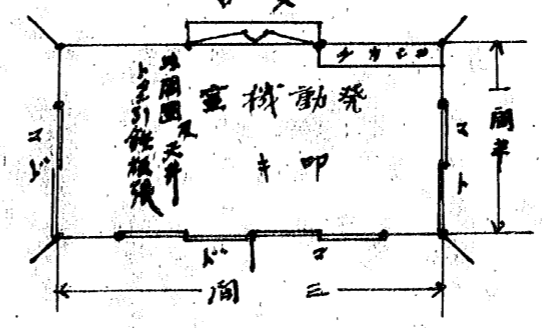
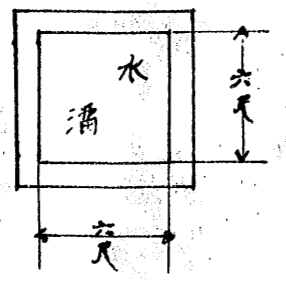
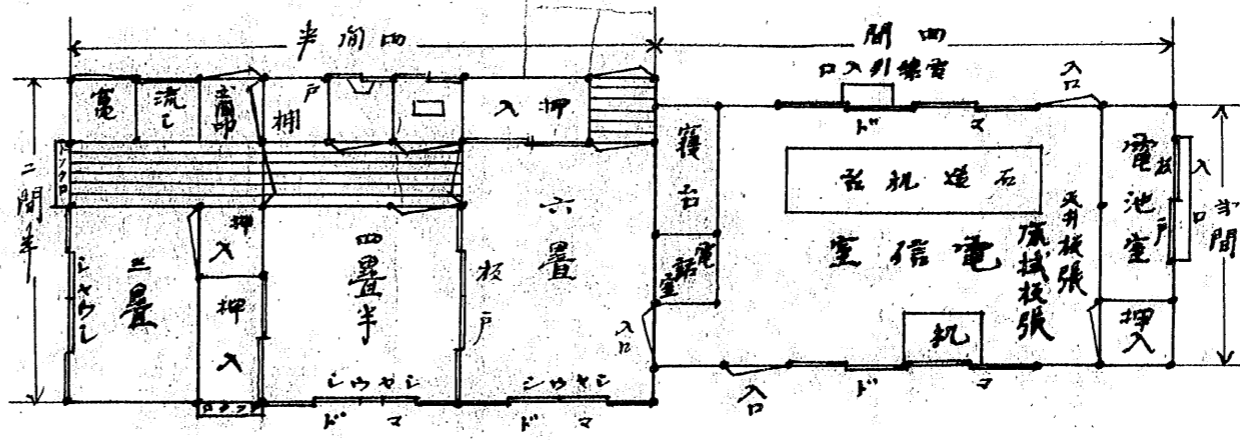
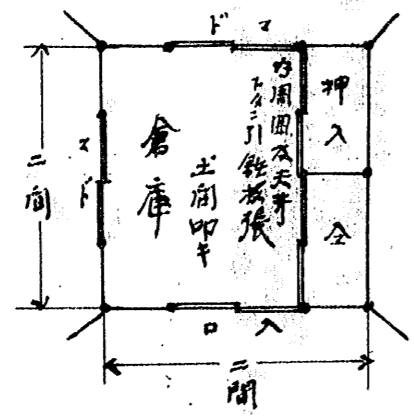
兵員持合ヲ構築スルノ必要アリ理由

在東ノ切子橋ハ平時三名ノ定員ナリシ處戰時以來四名ニ増加セリルツ以
テ現。扶陸ヲ告テ、エシテ於陸軍ニ無線電信ニ任事スヘキ員
ヲ容ルヘキ餘地ナキニテ、無線電信所ノ爲メ要スヘキ用品其他備
品格納所トシテ、艦中ノ切子橋南舎ノ一部ヲ利用シ無線電信所
用倉庫ハ設置セリトセリ故ニ電信室ニ接続シテ定員ノ接舎
ヲ設置セラレシ

本島線電信ノ復設建築物ハ普通以上ノ強度ヲ要スル程中

本地島ハ大島波浮乃ハ大島ノ如ク恒強風速吹スルコトナキヲ以テ特
ニ風防堤ヲ構築スルノ要ナシト思フスレモ兎ニ南海面ニ突出シ
タル切子橋ナルコト風害ヲ受クルニ由地ヨリ激シキ言ヲ待タズル所ナリ故ニ
復設建築物ニ亦普通以上ノ堅固ニ為スノ要アリ

金華山熱線電信所平面之圖
 縮尺百ノ一

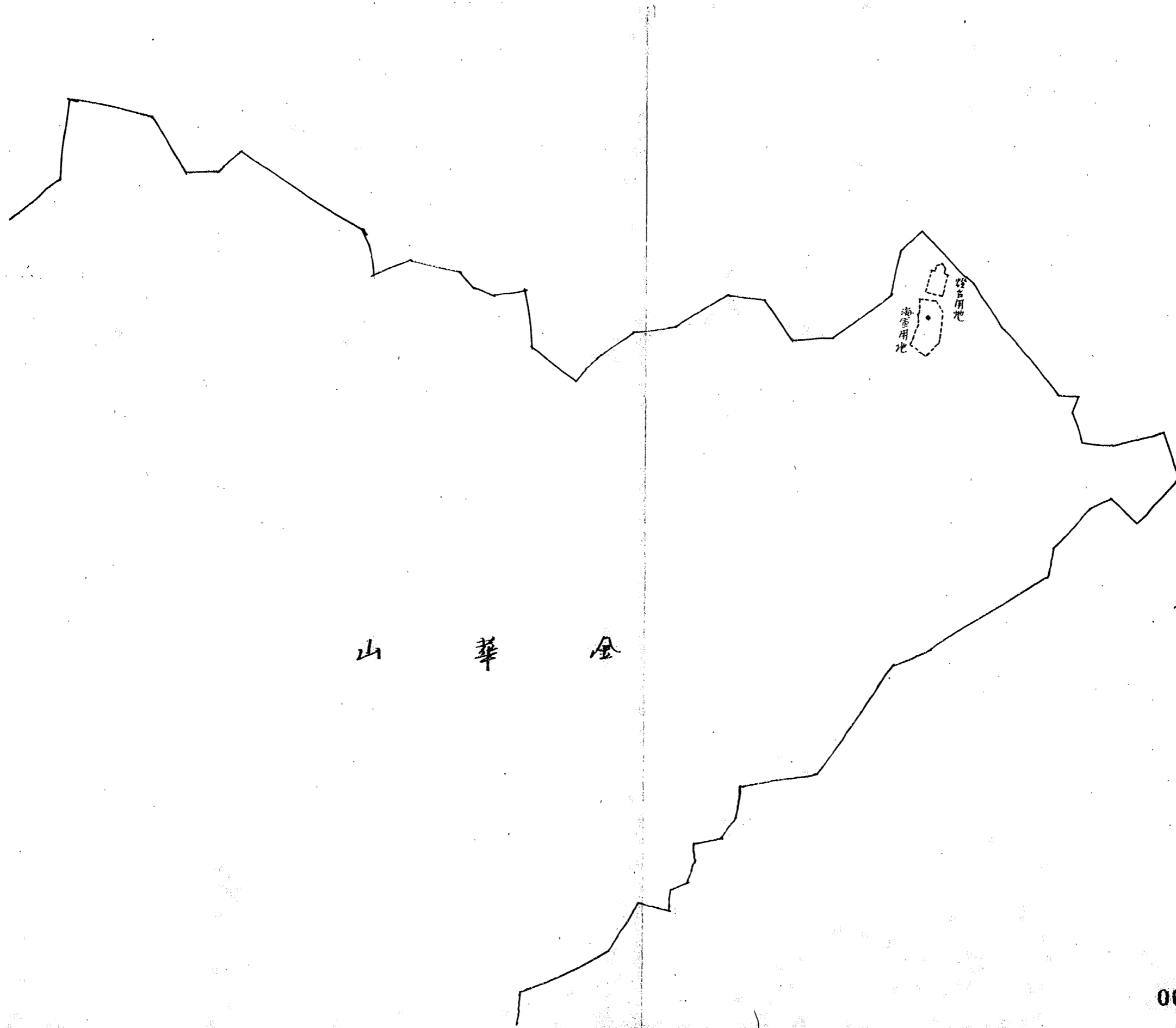


8.75

0688

金華山無線電信所位置之圖

尺度 四分七厘五廿百間



山 華 金

0689

副官



參事官

三十八年五月廿日起案

五月廿日

發付

履歷簿

大臣

次官

經理局長

主任局員

指合案

横鎮機密第一七〇号ノ二本長浦田堀割改
設工事 設計變更ノ件認許ス
明治三十八年五月廿日

官房機密第五七五號ニ

海軍

0690

經理局

一七〇ノ二

本長浦旧堀割改設工事設計變更義府上申

本年三月官房機密第三三號ヲ以テ御訓令相

成矣臨時軍事費支弁ニ屬スル本長浦旧堀割改

設工事義先般未施工致居矣知別紙圖面朱

線箇竹土層深クテ容易ニ岩盤ニ達セザルヲ以テ原

設計如ク用盡金面ヲ直接海水ニ接觸セシムル於テハ將來

崩壞ノ虞有之矣ニ付此際石垣ヲ築造シテ右豫防

致度工費為取調候如概算金九百円ヲ要スル見

込ニシテ御訓令豫算殘ニ範圍内ニテ支弁出来候條

右設計變更工事施行ニ義御認許相成度調

書義圖面相添此致上申候也

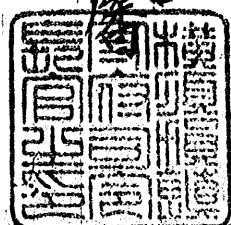
官房機密第五七五號

0691

明治三十八年五月十三日

横須賀鎮守府司令長官男爵井上良毅

海軍大臣男爵山本權兵衛 殿



0692

一金九百圓

謝書

内

金百五拾圓

金七百五拾圓

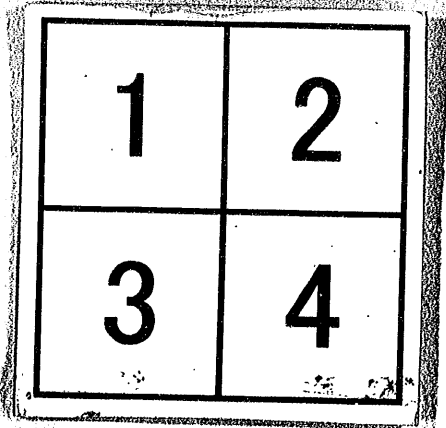
本長浦田堀割改修工事設計變更工費概算類

開 費 賞

石垣築造費

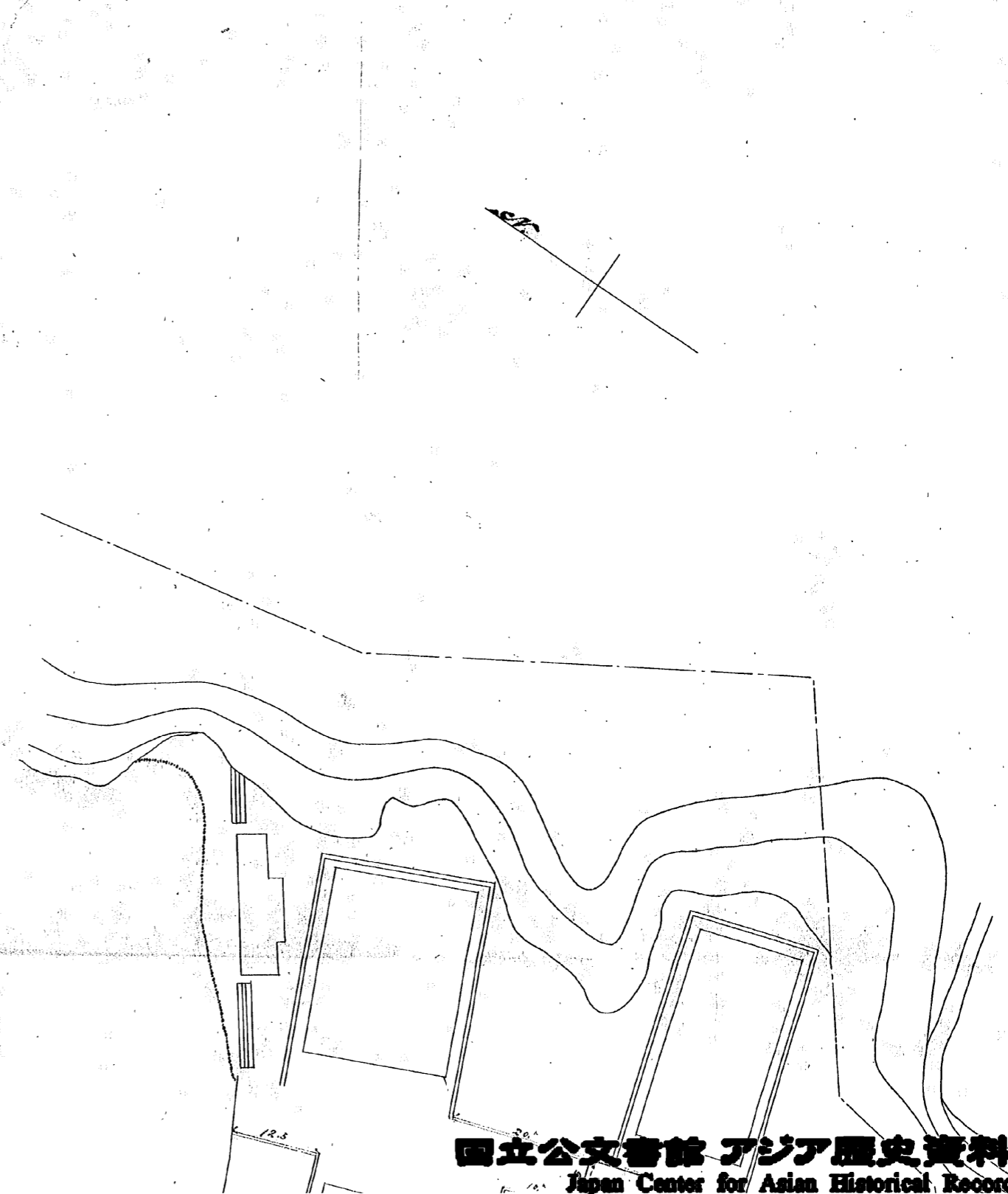
0693

分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 版 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

0694
0695

0696
0697



長持石剝取工事

位置図

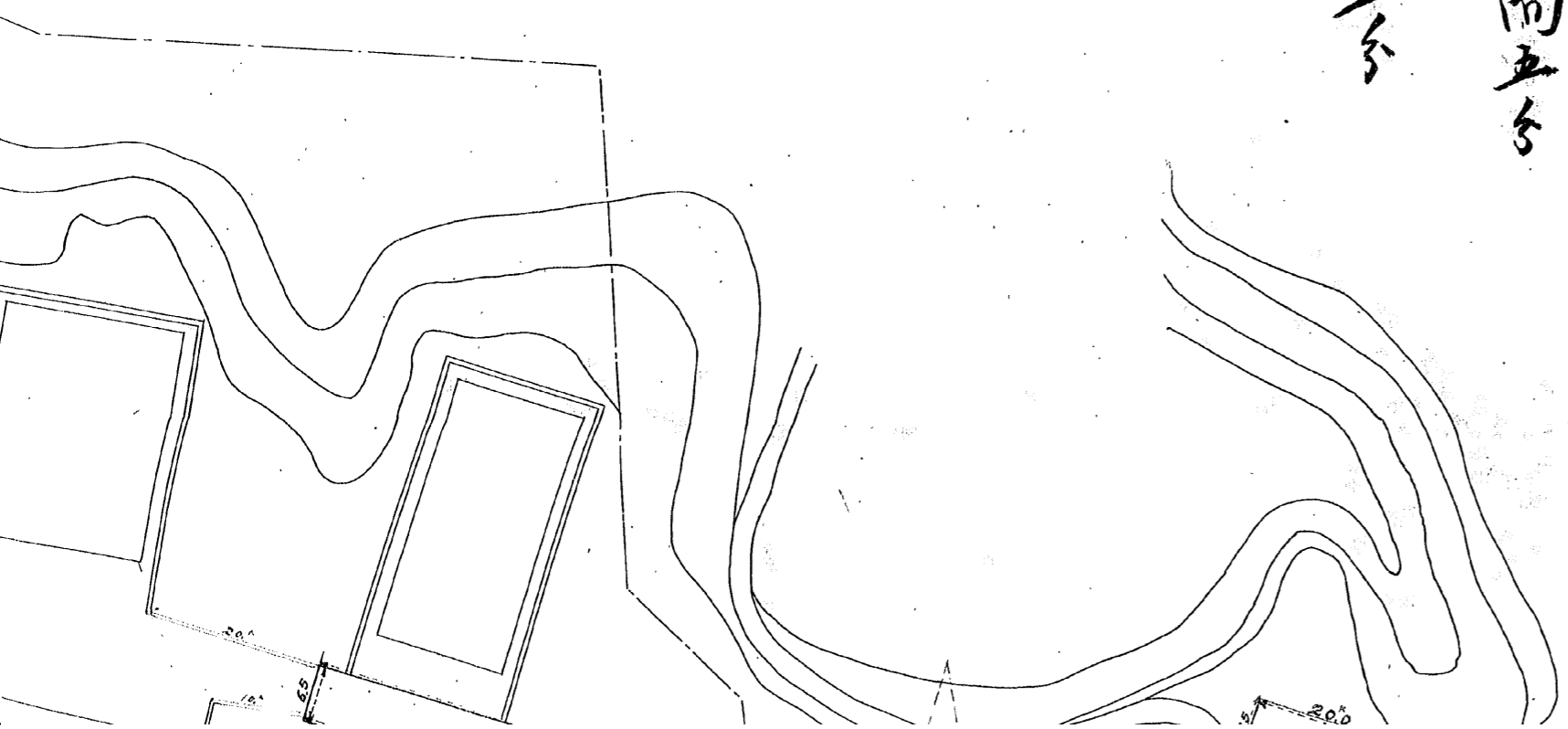


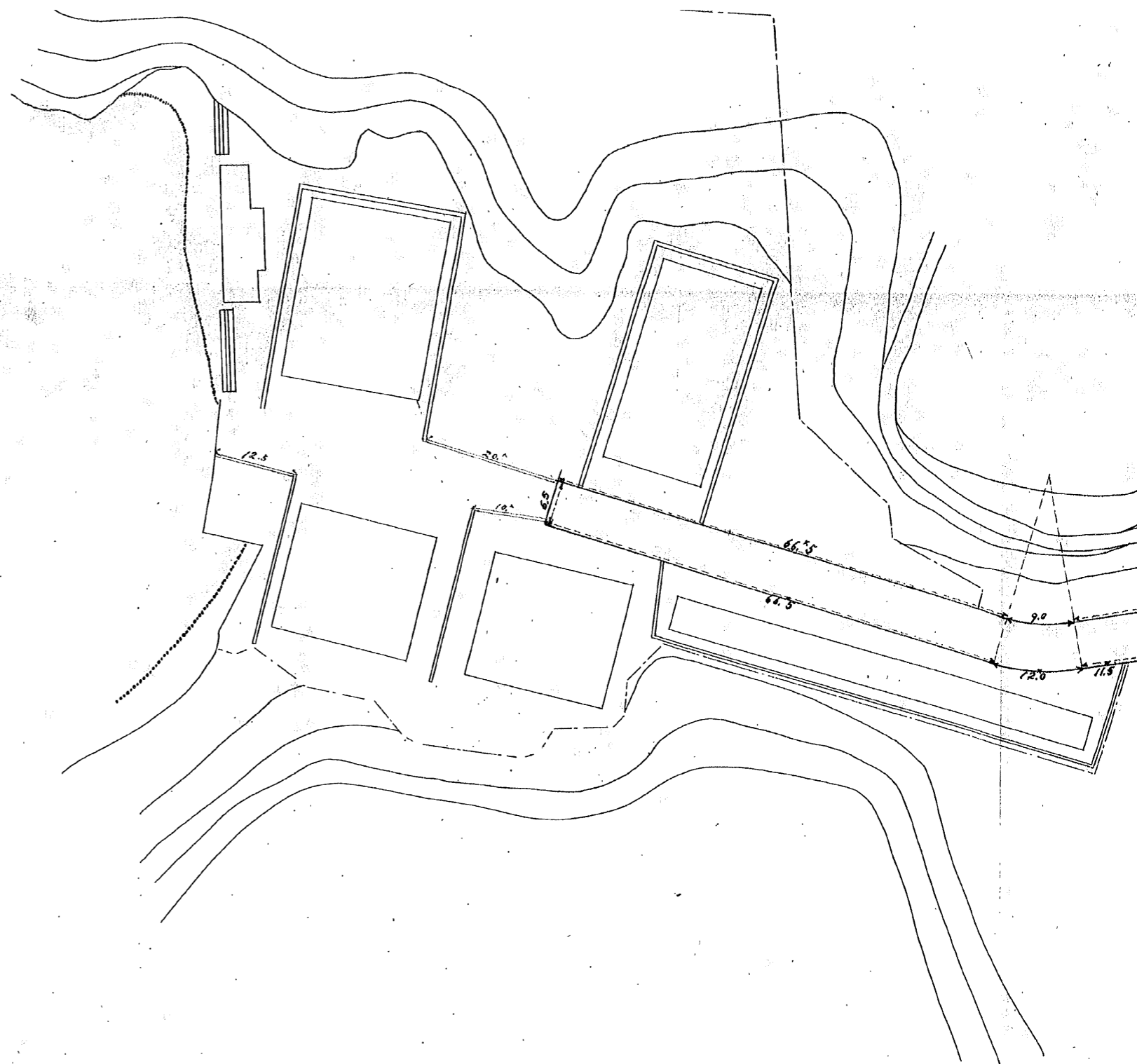
綿

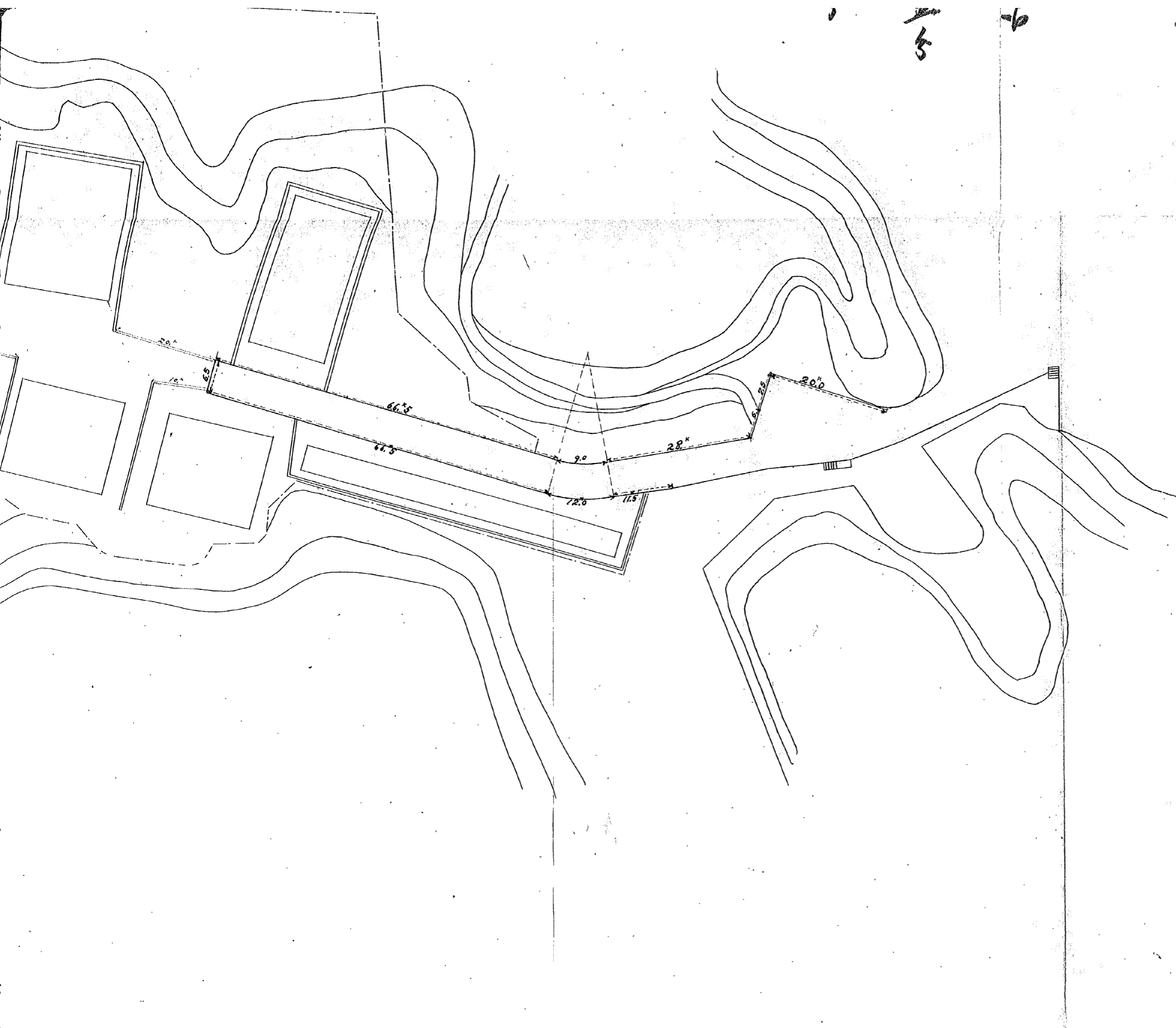
増築石垣延長北指石

築込計石垣部北指石同五分

原江計下北指石同五分







位五園



結成永山百々之庵



官房機密第六四號

次官



經理局長

軍務局長



主任局員



局長



局長



局長



三

0698

別紙横鎮機密第八号局員

申一拿捕船八口不年分陸揚ノ鉄管使
用ノ件、今後時尚ノ進行ニ伴フ設

備上臨時軍事費支辨ノ工事

費用必要起ルヤモ難ク材料

工下ノ臨時軍事費支辨ノ工事

必要ノ場合ニ使用セラルル事

中承知有度仍各報上申上ノ費控

議不承知有度仍各報上申上ノ費控

直子御代上申一應及直臣の
明治三十八年一月一日
次官

横濱領事館守府司令長官
三

0699

横濱機密第八号、三三五

拿捕鉄管使用之義ニ付上申

本年度軍艦製造及建築費管繕費新管
費及軍事費修繕費支弁ニ属スル各水
道布設工事、此際着手可致見込ヲ以
テ調査為致候處目下ノ時局ニ際シ鉄
材拂底ノ折柄ニ付鉄管類ノ如キモ容
易ニ得ル見込甚之工事施行上願ル差
支候處現時當府經理部アレテ保管セ
シメ居候拿捕配パロ不辨ヨリ揚陸ノ
鉄管中至極恰者ノモ有之候ニ付之

0700

レカ使用ノ事ニ相成候ハ極メテ便
宜ト被存候条別紙補巻ノ通リ鉄巻使
用ノ儀持ニ由認許取成度候取上申
候也

明延三年七月辛九

横濱架橋守府目合長友國壽井上良馨

海軍大臣國壽山本権兵衛殿

0701

調書

管 区	種 別	評定單價	科 目	小 計
鐵管	内径四吋 長不左	三十四	軍艦製造及建築費 水雷術練習所水 場鋼工場水道新設用管 修繕工事用	一、五二七
左	内径三吋 長不左	二七一		五、六七三
左	内径二吋 長不左	一八一		一、四六三
左	内径一吋 長不左	七六		五、四〇〇
合 計				五、四〇〇
				二、七五九
				七、四〇六
				一、一六四
				七、七

0702

副官



參事官

三十八年六月十日 起案

發行

大臣

次官



經理局長



主任局員

ら

多



横鎮機密第三八三号工廠鑄鐵及鑄鋼

電信指入令案

每頁

原簿

0703

注 算

場其他ノ新造材料ノ一部工事請負ヨリ分離
入ノ件認許ス

明治三十八年六月十日

0704

官房機密第一七號

理局

官房機密第一七號

材料一部工事請員より分離購入義
ニ付上申

本年三月官房機密第一七號ニ御訓令
ニ依り工事施行可致臨時軍事費支弁
屬之海軍工廠鑄鉄及鋼場造機工
場材料置場并造兵部兵部組立所各
新営工事ニ要スル材料中家根及羽日板用
鋁鍍波形鉄板外國製品目下内地
現品拂底折柄急速調弁難相成見込
ニ付本工事請員ニ付先ニ分離購入上
官渡材トシテ交付改候ハ工事進捗上煩便

官房機密第一七號

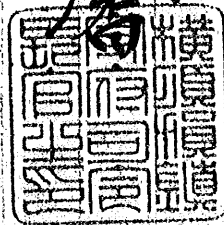
六十一

0705

軍被存候條御認許相成度此段上
申候也

明治三十八年六月九日

横須賀鎮守府長官男爵井上良馨



海軍大臣男爵山本権兵衛殿

追テ本件ハ至急ヲ要スル義ニ候條御認
許ノ上ハ電報ヲ以テ御指令相成度此段
副申候也

0706

官廳秘密第七〇九號二

橫濱機密第三九三号特号水雷艇船

指令案

副官

參事官

三十九年六月十六日起案

大臣

次官

經理局長

軍務局長

艦政本部長 第三部長

會計課長

主任局員

局員

六五

發行

支出簿

履歷簿

0707

台及國取拂ノ件認許ス
明治三十八年六月廿七日

海
軍

0708

經理局

三九三

特号水雷艇船名及用取拂之義

昨年土月官房機密第一五三三号、二御認

許、依り臨時軍事費ヲ以テ仮設ノ特号

水雷艇船名及用ノ義、我々全艇モ進水ノ今日最早

存置スル必要無之ノ事、却テ他工事ノ障得

相成候付、之ヲ取拂ヒ原形ノ復シ度工費

取調サセ候処、別紙調書之通り概算金

百五拾用ヲ要シ候條、此際臨時軍事費

以テ取拂復旧ノ義、御認許相成度

此候上申候也
明治三十年六月十五日

官房機密第七〇九號

六六

0709

横濱賀領守府司長官國書府井上良

海軍大臣國書府家樞吉衛殿

此等解毀材料中將來使用ニ堪スルモノハ比
際速ニ築材料トシテ 經理部達築材料
於テ受入 輕回 理カニ 爲改 度候 條
此段 副申候也



0710

調書

一令百五拾圓

内

金百圓

金五拾圓

特号水雷艇取台及同取掛模四王貴概具類

取臺取掛模四王貴

取掛工費

海軍

0711

陸安

大臣

次官

副官

參事官

發付

月日

三十八年六月十五日起案

經理局長

印

主任局員

印

軍務局長

局員

艦政部長

指令案

横鎮第一三〇号ノ四九上車ノ内特号水雷

毎頁

文出簿
履歴簿

0713

0712

本排行
本排行

竹号水雷

宣



買



支出簿
履歴簿

内
記
表

0713

0712



宣

本件ハ横鎮機密第三九三号ヲ以テ取
 拂ノ件別途上申ニ付自然亦工率ハ施
 行ノ必要ナキモノト認ルニ依^テ取消シ其
 伏行印付ニ留置ス
 宣統六年六月
 宣

海軍

艇田移轉^{陸少}一事ノ一應ニ限リ認許ス

明治三十八年六月 日

(備考)

油庫ノ際而擴張欲スヨリ上申申ノカヲ今面油軍擴張

支弁ニテ建設ノ内定ニ付此上申ノ方建設ノ必要ヲ認メス

又番倉ハ特設セサルモ相當ノ貯留量得ルニシテ認メ之ヲ復

許サルコト

0714

經理局

主任局員

官席第一九六一號

機密第一三〇號四九

大漢修理工場油庫外貳庫工事
仮設之義我付上申

大漢修理工場油庫建設必要ヲ認メ白裏
横鎮機密第三三三號ニテ以テ提出セシメ九年
度新管工事調査中乙號ニ編入段置候知
近時船艇修理増加ニ爲テ多量油貯
至リ候付從來如ク工場一隅若ク材料倉庫
内ニ格納シ置キタル危險甚有之依テ實際
之ニ工場外安全位置ニ貯蓄スル得策トシ
存候条木造子家建考ル坪ノ仮油庫壹棟
川紙甲端圖面位置ニ建設段後又過般小

五廿
印

(東京三浦印行)

5/12

0715

海海岸に仮設セシガソリニ油仮倉庫非常中た危
 険物に付特ニ取締必要有之候條別紙ニ歸
 圖面ノ位置ニ番店トシテ木造平家達六坪式
 合五ノクニ、港棟仮設改設時又若年土月
 官房機密才一五三ニ号ニ付認許ニ依リ仮設
 特種水雷艇圍ニ義裁ニ之ニ近接ニ製衣造中
 艇逐艦ハ汽鐘振付ノ為メ障害ト相成候
 付之レカ近長六拾式間四方式屋ニ編少ニ必西の
 相生ノ候処今日ヨリ、特号水雷艇製衣造上差
 支吾之ニ付は除移轉編少改設依ラ以上三
 廉ニ對シテ工費高下調候知別紙調書、通
 概算合計金四百八糸参考格五錢ヲ要シ候右
 目下最急ニ要立事ニ付臨時軍事費ヲ以

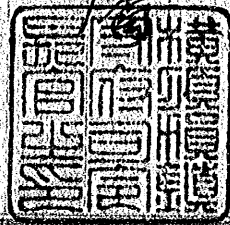
海 年

0716

工事施行義書認許相成度
書相成度段上申候也
此面並調

明治三十八年五月十九日

横須賀鎮守府夏長官男爵井良整



海軍大臣男爵山本權兵衛 敬

追々本文特號水雷艇圖 移轉縮小對し自
然間數多向五方八厘解毀ノ事ニ至成候
係併々出認許相成度以抄 副申立也

海軍

東京三浦印行

0717

調書

一 金四百八十圓 拾五錢

大湊佐理工場油庫外吐庫事後設置概算額

内譯

金百五拾圓

大湊佐理工場油庫後設置

金貳百拾圓七拾五錢

ガソリン油倉庫番舎後設置

金拾九圓二拾錢

特号水雷艇回移轉費

海軍

東京三浦知行

0718

甲子

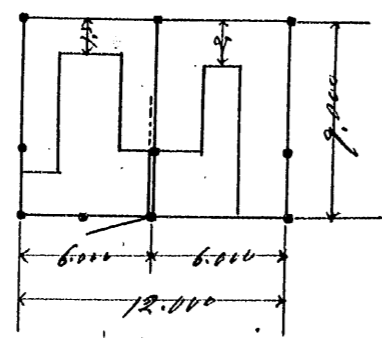
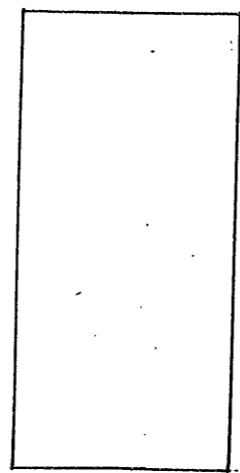
大湊海軍修理工場

縮尺 1/500

仮油庫新設位置圖

仮油庫新設位置

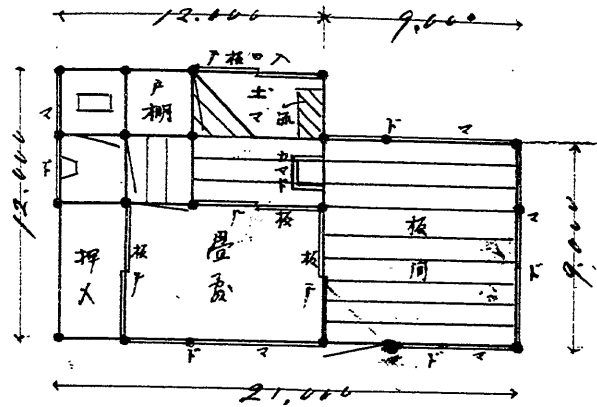
材料庫



仮油庫平面百台表

0719

ガソリン油仮倉庫番舎新設百石志図



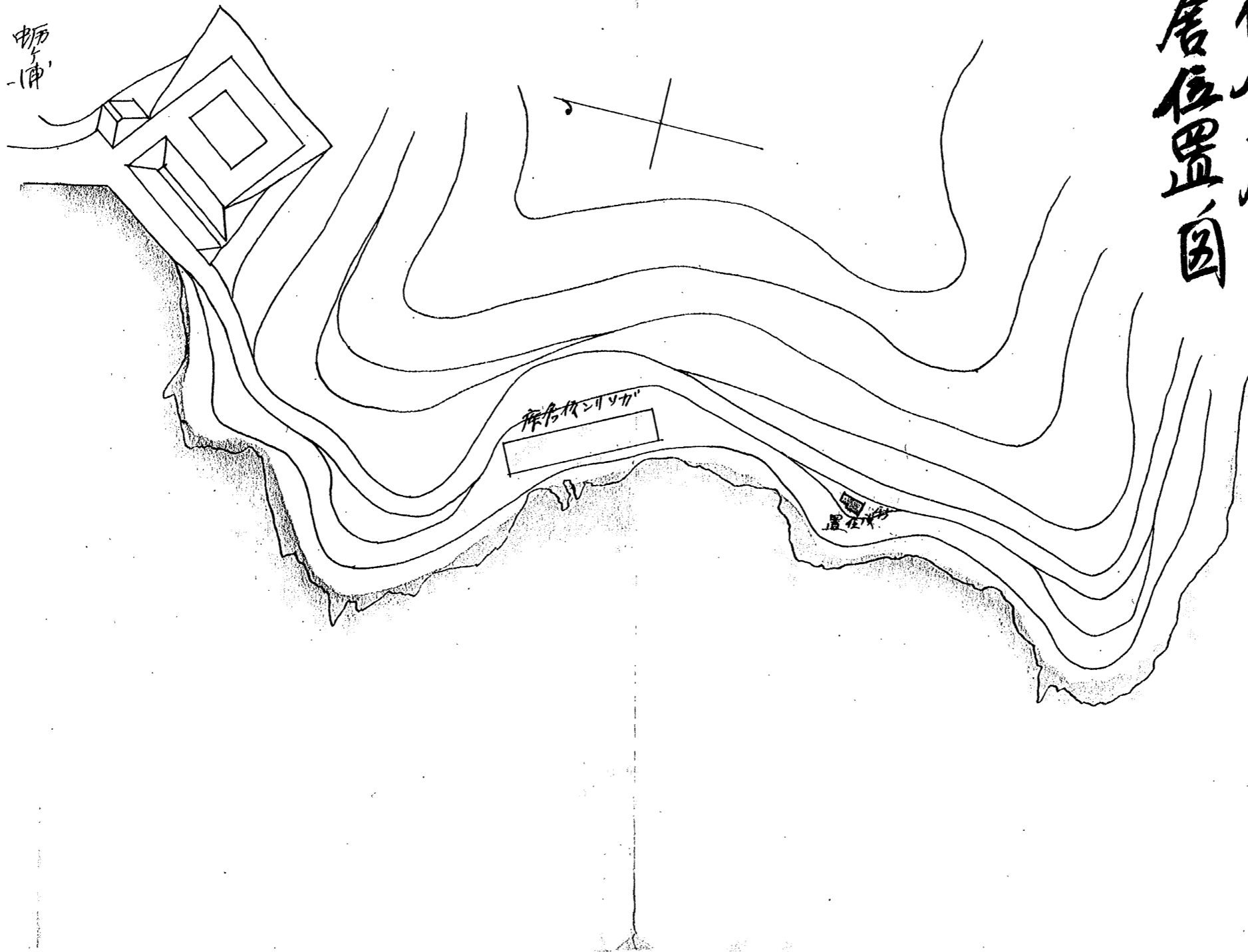
建坪六坪貳拾五文



乙号

カリシ油仮倉庫
番付位置図

縮尺千分百の一



0721

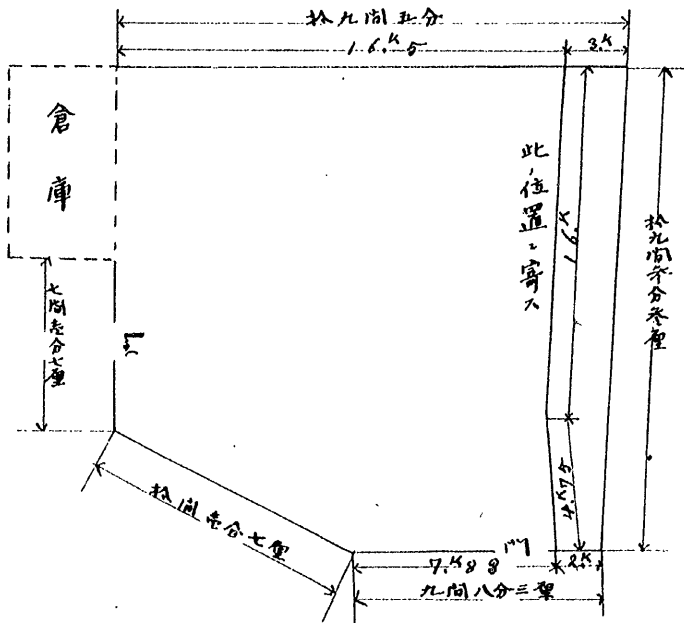
丙号

特号水雷艇用切縮ノ方

但シ朱線ノ位置ニ寄ル

元長延六拾六間 内三間五分八厘減ス

差引
残六拾貳間四分式厘



0722